

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・音楽科

曲を聴いて、**感じたことや気付いたことを基に事前に情報収集して**曲への関心を高め、課題を明確にする。

1 学習場面

調査活動・家庭学習（個別学習） 協働での意見整理（協働学習）

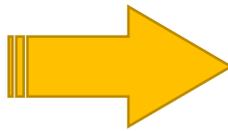
2 本時の目標

箏曲について学び、「六段の調」の特徴について理解する。【鑑賞・器楽】

3 授業内容をアップデート

Before

授業内、または授業後に、個々に調べたことをワークシートにまとめる。



After

生徒は**1週間前に送られた課題に取り組む**ことで、**自分のペースで情報を収集でき**、授業での課題が明確になる。**デジタルノートは随時共有**できる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 箏の演奏の仕方について、**動画を視聴することで理解**することができる。
- 曲ができた背景等知りたい情報について、**いつでも追加修正**できる。
- ★**感じたことをもとに収集した情報について**、多面的・多角的な見方をしながら情報を整理していくこと、著作権についても留意するよう助言する。

※題材ごとにチャンネルを作成しておく
と活用しやすい

事前学習をしておくことで個々の興味・関心を高めておき、音楽室での学びにつなげる。

視聴した動画のリンクを張っておき、いつでも視聴できるようにするとよい。

※週に1回の授業であることを踏まえ、反転学習を行う等、生徒一人一人の学びが深まる題材構成を考えたい。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・音楽科

繰り返し何度も聴いて、知覚・感受したことを深め、自分の考えを形成する。

1 学習場面

個に応じた学習・思考を深める学習（個別学習）

※生徒の選択により一斉学習、協働学習も可能

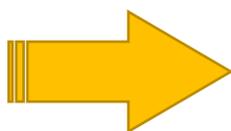
2 本時の目標

教材曲「〇〇」の詞の内容と旋律の関わりについて考える。【鑑賞】

3 授業内容をアップデート

Before

生徒は一斉に示された音楽を順番に聴き、知覚・感受したことをワークシートにメモをとる。



After

生徒は**端末のクラウド上にあげられている音楽を自分で選択して視聴する。繰り返し何度も聴いて確かめることができる。**

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○音楽を形づくっている要素を手掛かりに**何度も聴き深めることができる。**

★自分で聴きたい旋律を選択し、繰り返し聴いて確かめるようにする。

★端末視聴とワークシートを併用したり、確かめた結果をアンケート機能で収集したりすると、協働的な学びにつながり見方・考え方を広げられる。



※個々に聴き深めるためのイヤホンの活用や音源の環境設定にも留意する。一斉に全体で鑑賞するよさも吟味する。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・音楽科

創作した音楽を友達と聴き合い、感想を伝え合うことで、よりよい音楽表現になるように創意工夫する。

1 学習場面

発表や話し合い（協働学習）

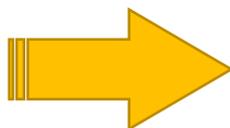
2 本時の目標

音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる。【創作】

3 授業内容をアップデート

Before

教師が作成したワークシートに書きこんだものを友達の助言を生かして修正する際に再度書き直しをする。



After

生徒がつくった音楽を自動演奏で聴き合ったり、設定条件を端末のシートで確認したりして、思いや意図に合った音楽を試行錯誤してつくる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○友達がつくった音楽を聴き合うことで、友達の表現に助言をしたり、友達の表現のよいところを自分の表現に生かしたりすることができる。

★友達と聴き合う際には、それぞれの表現のよさを認め合えるようにする。★同じ思いや意図でも音楽を形づくっている要素との関わらせ方で表現が異なること等、時には教師が一斉で確認し、創作表現をより工夫させたい。



※ワークシートとデジタルを上手に組み合わせるとよい。何をどのように活用するかは生徒に自己決定させたい。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

